

西田総 おらだ 児童文學者。大正四年五月十九日東京麹町生れ、昭和八年七月一日没（一九五七）。昭和十一年早稻田大學文學部を中退して赤坂歩兵第一聯隊に入隊。翌年北支を轉戦、十二年歸國し除隊。十六年児童書出版の正祥社を設立、町編長編隊長となるも翌年再應召。この間 かん 児童向け戦記、童話、繪本等發表。應召解除後啓明出版社企画編輯部長を経て、十九年二度び渡支。二十一年復員後立川市公居住して創作活動を再開。二十六年月刊『日本児童文化』を創刊。その後市の教育委員、社會事業にも關係。

著書に『戦風時代』（昭和九年五月二十日浩文社）、『山と兵隊』（昭和十四年九月二十日都祥閣）、『置馬物語』（昭和十五年二月十日都祥閣）、『雲と兵隊』（兵士の戦争手記）（改訂再版・昭和十五年二月二十日都祥閣）、『長驅強行五百キロ・上海戦争 残花一輪・飛行基地整備備説』（戦争文學探作集）（林房雄・市川禪海・渡邊正治合著、昭和十五年五月十日潮文閣）、『兵隊と千洪達』（昭和十五年八月十五日都祥閣）、『ちよんまおび分隊長』（昭和十五年八月十五日都祥閣）、『霧の王千ちゃん・お台まことお月ちゃんまことからす』（昭和二十一年十月二十日興文堂）『おひま文庫』（『白鶴姫』）（昭和二十一年十一月十日興文堂）『おひま文庫』（『銅の圓銀の圓金の圓・朝と晝と夜』（昭和二十二年十一月五日興文堂）、少年少女冒險探偵小説『躍る蠻獸』（昭和二十三年十一月十日児童圖書出版社）、少女小説『友情の小窓』『蕃藪乙女』『母恋鳥』『孤島の少女たち』（以上四冊同時刊行、昭和二十四年五月五日興文堂）『すみれ文庫』（『小鳩の夢』（昭和二十四年十二月十五日文園社）、野球小説『友情の熱球』（昭和二十七年四月十

五百新皇書房）、『基地の女』（昭和二十八年六月、二千五百河出書房）、
『オシリーの真探偵』（昭和二十一年五月、二千五百第一書房）、『狂
つた断面』（昭和二十二年九月、二千五百小説刊行社）等。戦後『浪々記
―西田稔著作集』全一冊（西田稔編、平成二年二月、二千一百けやき）出
版（刊）。

